

第1回流山市総合教育会議議事録

- 1 日時 令和2年8月28日（金）13時30分から14時45分
- 2 場所 庁議室
- 3 委員 井崎市長、田中教育長、杉浦教育長職務代理者、堀内教育委員
宮田教育委員、割田教育委員
- 4 傍聴者 あり
- 5 内容

総合政策部長

みなさま、こんにちは。ただ今から、令和2年度第1回総合教育会議を開催いたします。

会議の進行につきましては、会議の議長であります市長にお願い致します。宜しくお願い致します。

市長

皆様、こんにちは。日頃から本市の教育行政について、多大なる御尽力をいただいておりますことに、この場をお借りして、感謝申し上げます。

議事を始める前に、委員の皆様にお諮りします。

総合教育会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第6項の規定により公開が原則ですが、議題2「いじめ対策調査会からの調査報告書について」は、プライバシー保護の観点から、同項ただし書の規定により非公開としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

市長

それでは、特に意見が無いようですので、議題2については非公開といたします。

非公開とすることについて皆様に御承認いただきましたが、念のため、賛成の方は挙手をお願いします。

ありがとうございます。挙手全員ですので、採決の結果、議題2は非公開とすることと致しました。

なお、本日の会議には傍聴の方がおりますので、あらかじめ御承知おきください。

また、傍聴人におかれましては、議題2の議事開始前にご退出いただきますようお願いいたします。

それでは、本日の議事に入ります。

議題1「流山市 GIGA スクール構想について」を議題とします。

指導課長

指導課長から説明をお願いします。

指導課長の松山です。宜しくお願い致します。着座にて失礼いたします。

流山市 GIGA スクール構想についてご説明いたします。資料 2 ページ及び 3 ページをご覧ください。これからの「超スマート社会」に向けて、教育現場でも ICT を基盤とした先端技術の導入と、教育ビッグデータの活用が必要となってきます。

これを推進するために、文部科学省と総務省が連携して次世代学校支援モデル構築事業を展開し、5つの都市にてスマートスクール実証事業が行われました。令和元年には文部科学省から「GIGA スクール構想」が発表され、令和 5 年度までに段階的に一人一台の端末を整備することとされましたが、この度の新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、自宅における学びの保障の必要性から、端末の整備が今年度に前倒しされました。

4 ページをご覧ください。流山市では、「流山市総合計画」においては「ICT 環境の整備」、「流山市教育振興基本計画」においては「ICT の有効活用による新たな学びの推進」をうたっており、国と流山市の方向性は一致しています。個別最適化された学びの実現に向けて、ICT 教育の充実を図ってまいります。

5 ページをご覧ください。左の図には本市の ICT 環境の現状をまとめております。校内無線 LAN 整備、一人一台端末の整備を現在進めているところでございます。右側の図には、今後の課題をまとめております。主なものは、ハード面では児童生徒の増加に対応するタブレット端末の追加の整備、校務系サーバーのセンターサーバー化、ソフト面におきましては教職員の ICT スキル向上などです。

今後、これらの課題を解決するために、ICT 関連事業を ICT の専門の企業に業務委託を行う予定です。

6 ページをご覧ください。業務委託を含めた今後の流山市の ICT 教育推進のための全体構成となります。今年の 8 月 1 日づけで、流山市 ICT 教育推進委員会を設置しました。また 8 月 26 日に第一回の会議を実施しました。その中に学識経験者の専門的な知見を得るために、東京理科大学理工学部副学部長の滝本宗宏教授を流山市 ICT 推進顧問として招き、同委員会にも参加していただきました。

本委員会では、流山市 GIGA スクール構想について意見交換を致しました。

最後のページをご覧ください。流山市では、先ほど説明いたしました、国の実証事業を行った渋谷区や奈良市の事例を調査研究し、流山市 GIGA スクール構想をまとめているところです。今までの教育実践の積み重ねと新たな ICT の活用を合わせて、本市が目指す「学びに向かう力と自立する子どもを育む」流山市の教育を一層推進してまいります。校務系学習系のデータを相互に連携させることにより、一人ひとりに合った効果的な指導を実現してまいります。

そのために、タブレット端末の様々な機能を最大限に活用し、協働学習、個別学習、家庭学習などを通して、情報活用能力とコミュニケーション能力を育ててまいります。

今後 ICT 教育推進委員会にていただいた御意見を踏まえ、本市の GIGA スクール構想を整えていく予定です。

また、第 1 回 ICT 教育推進委員会では、今後整備するタブレット端末の OS の選定を行いました。Windows、chrome、iPad のそれぞれの機能などを比較検討した結果、Windows を採用する方針が固まりました。

次回は 9 月に再度会議を開催し、流山市の GIGA スクール構想をまとめていく予定です。

以上となります。

市長

ただいま、流山市の GIGA スクール構想について説明がありました。流山市の G I G A スクール構想については、市が目指す教育を実現できる最適な方法を、しっかりと検討していただきたいと思えます。またその中で、地域にある企業もノウハウを持った企業であれば、可能な限り検討の対象としていただくことも、考えていただきたいと思えます。

また、実現のために、児童生徒に一人一台の端末を整備する予算を計上し、9 月 3 日から始まる令和 2 年度流山市議会第 3 回定例会において審議していただく予定です。端末等の購入に係る予算について、国からの補助金の動向も含めて説明をお願いします。

指導課長

端末購入に係る予算について、ご説明いたします。

令和 2 年度流山市議会第 3 回定例会におきまして、端末購入に係る予算として、1 2 億 8 千万円を上程しております。そのうち、国からの補助金約 4 億 6 千万円を充当する予定です。

以上となります。

市長

それでは、質疑をお受けしたいと思います。質問のある方から挙手をお願いします。

杉浦委員

感想を含めて質問します。今回のコロナの様々な環境の中で、子どもたちの学びをどう保障するか、あるいは義務教育の平等性をどう担保するかについて各地で話題になったと思います。

当市におきましても、教育委員会を中心に、家庭にいてもできる学習について、学校から様々な情報提供があったという話をいただいております、このオンライン学習がいかに重要かと改めて認識されてきたと思います。

今回お話いただいたように、当初 ICT については予算は1億強と記憶しておりますが、国の補助金と一般財源を予算としてつけていただいております、今年度中に整備をしようということで、子どもたちの学びの保障をしていくために、大きな一歩を示していただいていると感じています。

ここから質問ですが、その中で GIGA スクール構想という、子ども一人に端末一台を与えるという、物品をそろえることだけがクローズアップされがちですが、やはり根本にあるのは子どもの学びの保障と義務教育の平等性だと思います。環境を整えることが難しい家庭に対してどうするか、あるいは例えば、災害や冬場のインフルエンザ等での学級閉鎖の期間、朝の会だけでもオンラインで学校と子どもがつながるような、不登校の子どももオンラインで学校と子どもがみんなつながるような、今までにない様々な可能性がでてくると思いますので、そのあたり、GIGA スクールを整備していく中でどうお考えなのか、お聞かせいただければと思います。以上です。

指導課長

お答えいたします。委員がおっしゃっている通り、GIGA スクール構想というのは、様々な可能性を秘めているものだと捉えております。今回のコロナウイルスにより、よりタブレット端末を活用した学習もクローズアップされ、先ほどお話にありました、これから災害時・不登校への授業支援等で活躍する一つのツールとして、これからの発展の可能性はあると思っております。そのために、まずは教員のスキルの向上、それから様々な家庭環境も踏まえた整備や、実際に身につけていただく必要があることも課題として捉える必要があると考えております。以上となります。

学校教育部長

補足させていただきます。WiFi 環境が無い家庭も含めてどう整

備していくかについては、教育委員会内部でも検討しております。

そして、災害・インフルエンザ・不登校等にも活かせるように、一人一台端末が文房具代わりに、子どもたちが普段自由に持ち帰って学習できるような、個に合わせた学習等も想定しております。今後感染症の第2波第3波、それから災害やインフルエンザにも対応できるよう進めていこうと考えております。以上でございます。

市長

他にございますか。

割田委員

先生方に対するスキルや研修についてですが、今年度中に端末が子ども達へ準備されるとなると、早速活用を始めるためには、先生達はスキルが身につけている状態であった方が良いと思うので、早めに開始した方がよいのではないかと思います。今のところそのような計画等ありましたら教えてください。

指導課長

お答えいたします。今委員が仰った通り、年度当初の4月には、研修内容を含めて研修を計画していたのですが、今回のGIGAスクール構想の加速に伴い、流山市においては研修の内容をガラッと変えているものもございます。例えば、特別支援教育や体育の実技研修の内容をICTを活用したものに急遽変えたりしています。

また、若い先生方を対象とした教師力アップ研修というのも定期的に行っていますが、今回授業動画当で活躍された方を急遽講師として招くなど、研修内容も整えております。

もうひとつ委員が仰ったように、子どもたちに端末の中に入る学習の電子ドリルの導入を考えておりますが、その研修も前倒しをして実施しております。今後も増やしてまいりたいと思います。

以上です。

市長

私も質問したいのですが、教師力アップ研修など若い先生達に対する研修のプログラムを作成、監修、指導するのはどういった方がなさるのでしょうか。

指導課長

教師力アップ研修のプログラムの研修内容については、指導課の方で協議して決めております。

教育長

補足ですが、職員の研修につきまして、委員が仰るようにまず先生方が使いこなせないと新年度に入って活用はできません。それ

もあり、前倒しでいろいろな研修を進めております。

今回の東京理科大学の滝本先生に専門的な立場から顧問となっ
ていただきましたので、専門的な方のお知恵も拝借しながら、若
手教員への研修にあたり、より先生方に浸透させる方法も含め、
ご支援、アドバイスいただきながら進める予定ではあります。

市長

例えば私と20代の職員を比べた時に、ITに関する理解や使い
方については雲泥の差がありますので、失礼ですが、指導課の中
でプログラムを作成、監修、指導することは中々厳しいのではな
いかと思いましたが、専門家が入っていただけるのであれば、し
っかりと進めていただきたいと思います。

他にいかがでしょうか。

堀内委員

先般新聞等でもよく目にする小学校4年生以降の単元毎の教師
の専任化についてです。今後、英語の先生が各クラスを教える等、
GIGA スクール構想も絡めて、クラス単位の授業ではなく、一つ
ソフトを作っいつでも見られる様に発展すると思います。クラ
スが多い学校であれば、学校経営上、一人の先生が全ての科目を
全員に教えるのではなく、英語の教師あるいは音楽の教師を中学
校の様にするような、専任化する動きは今後の予定と捉えてよろ
しいですか。

学校教育部長

小学校の専科の件ですが、先だって新聞で報道されておしまし
たが、まだ正式な通知が文部科学省から届いておりません。しか
し、その動きがあるというのは肌で感じております。今年度流山
市にも科外教員と申しまして、国県を通じた専科教員の配置が、
9~10名程度の配置がありますので、順次進めてまいります。

小学校の高学年については、今後そういった教科担任制の方向
で進めていく予定ではございます。まだ正式には来ていないので、
そうなるのではないかと、という予想のもとお答えさせていただきます。

市長

他にいかがですか、一点だけじゃなくて他にありましたら。

堀内委員

英語の学習が4年生から急に変わった年だと思っておりますので、学
校現場としては大変なのかなと思っております。お伺いしました。

市長

他にいかがでしょうか。

市長

私からいくつか質問させていただきます。使い方については低学年や高学年で使い方が異なると思いますが、長期休暇や不登校だけでなく、一般の授業だとなかなか戻れない個人個人の苦手な所や、つまづいてるところまで戻って力を付けさせる仕組みを検討して頂きたいと思います。

長期休暇や週末だけでなく、平日も含めてモチベーションを向上させるような使い方や活用方法も、専門家や若い先生、保護者など、現場からの声をよく聞いて、活用について範囲や枠を決めずに検討して頂きたいと思います。

2日ほど前に各新聞とテレビでも放映されていた、流山市のシェアオフィス、サテライトオフィスを運営している会社「空飛ぶ教室」に各地から問い合わせが沢山あるそうです。ニーズは限られると思いますが、流山市では問い合わせはされていますか。別に必要ないということであれば別ですが、各地から問い合わせが来ている会社に地元が無反応というのはちょっと残念ですから、どのように使うかは別ですが、説明会をするということも出てましたので、是非、皆様もうまく使っていただけたらと思います。

それから、端末自体は一挙に入るわけではないので、普及の仕方と入荷のスケジュールを教えてくださいと思います。

とりあえずそこまででお願いいたします。

指導課長

今回の端末導入のスケジュールについてご説明させていただきます。全国的に自治体が GIGA スクール構想を取り組むという事ですが、本市の方のスケジュールはこのようになります。端末の購入につきましては、9月第3回定例会にて補正予算計上、10月に入札、12月第4回定例会での承認後、導入に向けた機器の調達、調達後に機器の設定という形で2段階で行う予定です。機器の調達につきましては年度内に整う予定ですが、児童生徒が使うための設定をする機器の設定については、最終的には令和3年度4月を目処に整備完了を目指してまいります。

以上となります。

市長

令和3年度4月とはどういうイメージでしょうか。令和3年4月ということでしょうか。

指導課長

令和3年4月です。

市長

ということは、機器の調達は令和2年度中で、翌月までには機

器の設定は終わると。

指導課長

はい。

市長

それからもう一点ですが、セキュリティに関しては、オンライン上のセキュリティと、それからもうひとつ、端末を子どもたちが学校に持ってきて充電し、また持って帰ればいいんですが、学校に置いて行くということになると、保管場所も検討が必要かと思えます。最近農業関係では、まとめて色んなものを盗んでいく事が報道されていました。どこに何十台あるということが分かっていると、その盗難防止にも配慮しないといけないので、ネットに関するセキュリティとそれから、ものの盗難防止のために考えていることがあればご紹介いただいて、なければ十分検討して頂くようにしてください。

指導課長

セキュリティにつきましてはとても大事だと思っております。現在各学校にてインターネットから様々な脅威から端末を守るようなセキュリティ機器が設定されております。また、子どもたちへのタブレット端末のこちらの内部にもセキュリティソフトをインストールし、子どもたちが不適切なサイトにアクセスできないようなフィルタリング等をかけていく予定でございます。

先程お話がありました、端末の保管、あるいは盗難ということですが、各教室に鍵付きの電子保管庫というものを設置し、その端末をその中に収容するというような計画でございます。また、子どもたちが家庭への持ち帰りの時に紛失盗難が生じた際に、他者が不正に利用できないような一人一つのIDのパスワード等を設定していきたいと思えます。また、最後に、子どもたちの学びを止めるということがないように、予備機、予備の端末タブレットの設定し、急な場合にはそちらの機械を活用しながら学びを止めないというようなスタイルでいきたいと思えます。以上となります。

市長

他にご質問、あるいはご提案ありましたら。

宮田委員

今までは紙と鉛筆を使って勉強していましたが、タブレットと電子ペンの話でちょっと思った事があります。

今の子ども達は、勉強や宿題をしなさいと言ったとしても、紙とペンからタブレットと電子ペンに変わること、もしかするとものすごい能力を見せてくれる子どもが生まれてくるんじゃない

かなあと考えています。市長にはそれだけの予算をつけていただいて、早くやるんだという意気込みがすごく伝わってきていますので、形だけ作って中身がなしだと意味がなくなりますので、中身をより充実したものでお願いします。将来の日本を背負って立つような子が出てくるかもしれないと思いますので、うまく導いてあげられたらといいなと思います。

市長

全体がオンライン、色々な状況に対応できるように、先ほど私からもお願いしたような、細かい指導のためのオンライン導入ということで、枠にはめずに是非ご尽力いただきたいと思います。同時に音楽・体育・美術・家庭科などの専科への配慮というのも是非お願いします。コロナで時間が圧縮され、運動会や修学旅行がなくなりました。リアルな体験をすることは極めて重要ですので、オンライン化が進むと同時にそういった体験型もしっかりと配慮して頂くようにお願いします。

杉浦委員

学校の事が話題になっていますが、以前会議の時もお話をしましたが、生涯学習施設、公民館・図書館・博物館・児童館等でも、子どもたちがタブレットを持つことによって、家にWifiの環境がなくてもそういう所で整備されていれば、そこで、学校に行かなくても活用ができると思います。また、博物館図書館等でも場合によっては色々な展示品とか図書の目録というのもタブレットで検索し、子どもたちの学びが深まっていくような可能性もあるかと思っていますので、生涯学習施設等でも環境整備を、追ってやっていただけたらと思います。

教育長

第一弾として、生涯学習センターに、フレンドステーションがございます。色々な事情で学校に行けない子たちが集まっているのですが、今年、そのフレンドステーションの子どもたちにも一台タブレットが配備されることになりました。また、小中学校に無線LANの環境も今年度中にすべて整備されますので、そういったことで、少しずつ広めていければなと思っています。

市長

他にございますか。

端末とアプリケーションの費用で12億8千万円を要する予定ですので、流山市が目指す、学ぶ子にこたえる流山市の実現のために、枠にはめずに、あらゆる可能性に対して具現化の努力をお

願います。最初から完璧なものを目指すと遅くなりますので、やれるところからやっていくということで、お願いしたいと思えます。

それでは、意見が無いようですので、次の議題に入りたいと思えます。

議題2につきましては、プライバシー保護の観点から非公開とさせていただきますので、傍聴者の方におかれましては、恐れ入りますがご退出をお願いします。

—————非公開—————

市長

それでは、本日の議題は以上ですが、皆様の方からその他何かございましたら自由に発言していただければと思えますがいかがでしょうか。

よろしいですか。

総合政策部長

みなさま、お疲れさまでございました。

それでは、以上をもって、令和元年度第2回総合教育会議を終了します。

ありがとうございました。

(閉会 14:45)